

人権協発 第36号
令和6年10月28日

熊本市人権啓発市民協議会会員 啓発担当者様

熊本市人権啓発市民協議会
事務局長 大林 正夫
(公印省略)

令和6年度ハンセン病現地研修会への参加者募集について(依頼)

平素から、熊本市人権啓発市民協議会の啓発活動に、ご協力いただき心よりお礼申し上げます。

2023年にハンセン病問題に関して厚生労働省が初めて実施した「ハンセン病に関する全国意識調査」で、「元患者と家族に対する差別や偏見が現在、世の中にあると思う」と回答した人が39.6%だったことの結果を踏まえ、さらなる人権意識の向上を目指すべく、人権研修会を開催いたします。今回の研修会では、ハンセン病に関する正しい知識を学び、当事者の声に直接触れる機会を通じて、偏見や差別をなくすための意識改革を図ります。つきましては、大変ご多用中に恐縮ですが、啓発担当者様をはじめ貴団体の皆様にお知らせいただき、多数のご参加をお願いいたします。

なお、参加者については、11月1日(金)から受付を開始しますので、事務局へご連絡(ファックス又はメール)下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和7年 1月23日(木) 午前9時~午後5時頃
桜の馬場 城彩苑 ロータリー内 乗降所午前9時
(午前8時45分から受付を開始します)
- 2 研修地 本妙寺、リデル、ライト両女史記念館、菊池恵楓園 当事者等との交流ほか
- 3 内容 ハンセン病病現地視察研修(バスツアー)
<午前> リデル、ライト両女史記念館、本妙寺
<午後> 菊池恵楓園歴史資料館館内にて語り部からの講話等
(1)本妙寺訪問
ハンセン病患者がかつて強制隔離された場所を訪れ、その歴史的背景を学びます。本妙寺の現地で、隔離政策がもたらした影響や、今も続くその余波について考えを深める時間を持ちます。
(2)菊池恵楓園歴史資料館見学
ハンセン病患者の歴史や社会の変遷を学びます。資料館での展示を通して、当時の患者の方々が直面した厳しい現実やその後の回復の歩みについて理解を深めます。
(3)当事者の方との交流
実際にハンセン病を経験された方との交流の場を設け、直接お話を伺います。当事者の

方の生の声を聞くことで、当事者の方がどのような人生を歩んできたのかを知り、私たちができることを考えます。

※現地等において、専門家（フィールドパートナー）によるガイド付きです。

- 4 募集人員 20名 **※先着順**
- 5 申込方法 下記の事務局までFAX又はメールでお知らせ下さい。
- 6 その他 貸切バスにて移動します。参加費は無料です。昼食、飲料水はご持参ください。
当日は、水俣病にゆかりのある施設を散策します。歩きやすい服装・靴でご参加ください。

熊本市人権啓発市民協議会事務局

担当：相馬・酒井

T E L : 096-328-2333

F A X : 096-324-2105

E-MAIL : jinken@city.kumamoto.lg.jp

令和7年（2025年）1月23日（木）開催 ハンセン病現地研修会

参加申込書

下記、必要事項をご記入のうえ令和6年11月29日（金）まで

熊本市人権啓発市民協議会事務局へFAXでお送り下さい。（メールでも申込みできます。）

申込日：令和6年 月 日

	氏名	年齢	連絡先（電話番号）	車椅子利用の有無
参加される方全員 のお名前を記入し てください。			住所 電話	有・無
			住所 電話	有・無
			住所 電話	有・無
			住所 電話	有・無
			住所 電話	有・無

問い合わせ先

熊本市人権啓発市民協議会事務局（熊本市役所人権政策課内）

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

TEL: 096-328-2333（9時～17時） FAX: 096-324-2105

MEIL: jinken@city.kumamoto.jp